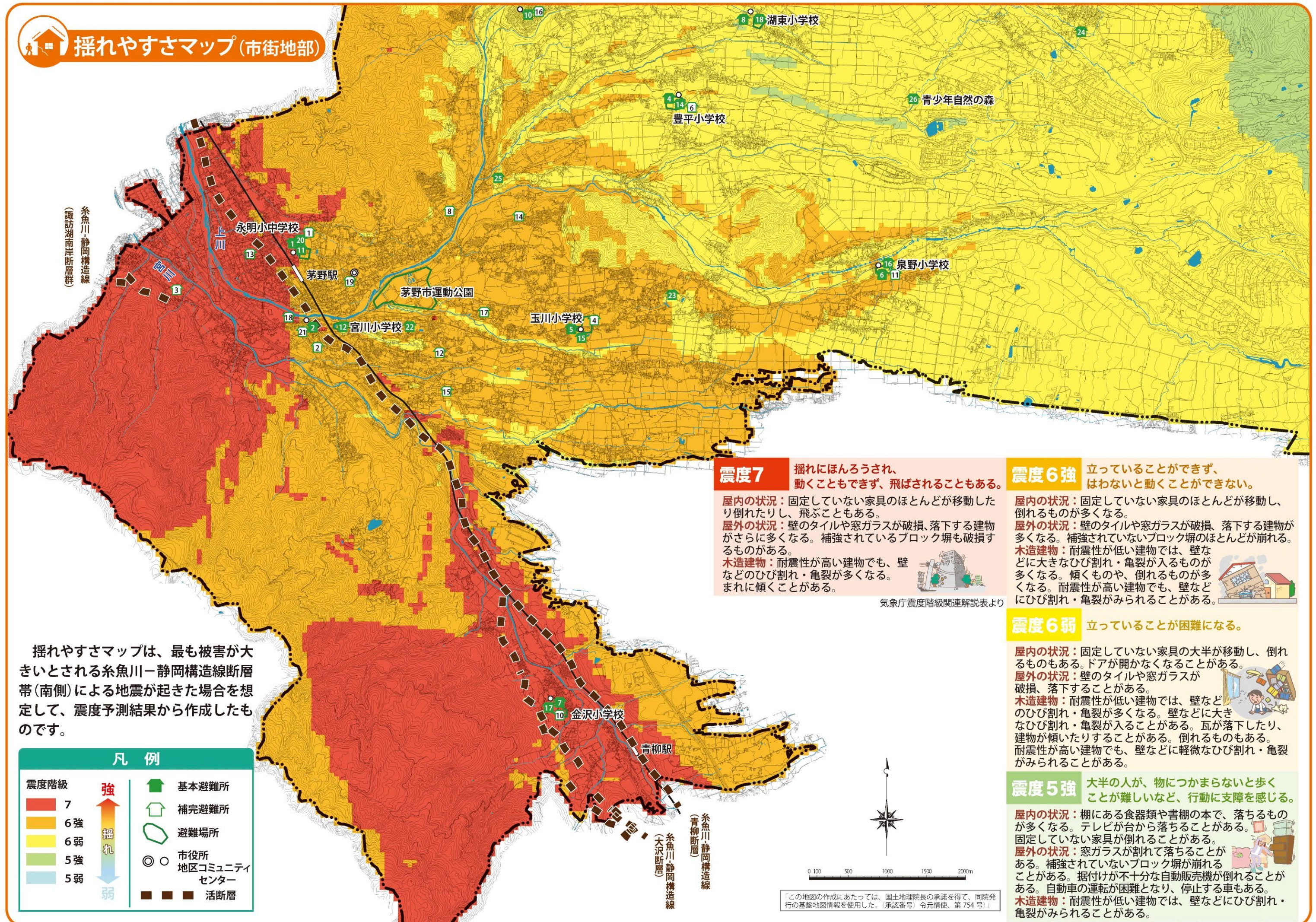




揺れやすさマップ(市街地部)



揺れやすさマップは、最も被害が大きいとされる糸魚川ー静岡構造線断層帯(南側)による地震が起きた場合を想定して、震度予測結果から作成したものです。

凡 例

震度階級	強	揺れ	弱
7	震度7		
6強	震度6強		
6弱	震度6弱		
5強	震度5強		
5弱	震度5弱		

基本避難所	補完避難所	避難場所	市役所	地区コミュニティセンター	活断層

震度7

揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。

屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。
木造建物：耐震性が高い建物でも、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。



気象庁震度階級関連解説表より

震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。

屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
木造建物：耐震性が低い建物では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。耐震性が高い建物でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度6弱

立っていることが困難になる。

屋内の状況：固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
木造建物：耐震性が低い建物では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。耐震性が高い建物でも、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度5強

大半の人が、物につかまらなないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。

屋内の状況：棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。
屋外の状況：窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
木造建物：耐震性が低い建物では、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号) 令元情使、第754号)」